

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

(単施設研究用)

西暦 2020 年 11 月 18 日作成 第 1 版

研究課題名	半自動体積測定法を用いた出血性ショック時 CT 画像所見における関心臓器の体積等と予後の関連性・特異性の検索
研究の対象	2015 年 6 月から 2020 年 3 月 31 日までの間に、出血性ショック（疑い含む）にて当院に搬送された方、または当院に入院中に出血性ショック（疑い含む）と診断された方のうち、当時 18 歳以上だった方を対象とします。 また 2011 年 1 月から 2019 年 12 月までの間に腎移植ドナーとして移植前造影 CT を撮影された方のうち、当時 18 歳以上だった方を対象とします。
研究目的 ・方法	出血性ショック時にヒトの体内の臓器はどのようにになっているか、特に臓器の体積に着眼し、CT 画像を用いて体積測定する方法をもって、臓器体積の変化と予後（生存率・回復状況）を解析します。 出血性ショック患症例と健常者の臓器体積比較対象とする目的で、腎移植ドナーの方の造影 CT 写真を用いて体積測定し、統計解析を実施します。
研究期間	西暦 2021 年 1 月 19 日～西暦 2022 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	観察項目（収集する診療情報） (出血性ショック又は疑いの方) 1) IVR 依頼あり症例の患者基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、既往歴、ショックに至った原因（外傷性出血・消化管出血・産後出血・動脈瘤破裂） 2) 血液検査 (Hb, HT, RBC, PLT, PT, APTT, フィブリノーゲン, FDP) 3) CT 画像検査直前の心拍数と収縮期血圧 4) 出血性ショックに関するスコア：ショックインデックス (SI) (3 で算出される、SI=心拍数/収縮期血圧) 5) 診断後の治療内容（塞栓術記録、輸液総量、輸血総量） 6) ショック症例造影 CT 画像 7) 転帰・予後：TAE 後翌日、1 週間後、1 ヶ月後の生存率および入院期間 (腎移植ドナーの方) 1) 造影 CT 画像 2) ドナー基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、既往歴

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

(単施設研究用)

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので下記連絡先まで電話にてお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター放射線部画像診断室

(研究責任者) 鳥本 いづみ

電話番号：045-261-5656 (代表)